

平成28年9月29日

都内私立中学高等学校  
校 長  
国語科教諭殿  
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会  
会 長 近藤 彰 郎  
東京私学教育研究所所長 須藤 勉  
文系教科研究会委員長 畑澤 正一  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

## 文系教科研究会（国語）「講演会」のご案内 — 漱石没後百年に『こころ』の「心」を考える —

平成28年度文系教科研究会（国語）第2回「講演会」のご案内をいたします。

今回は、講師に文学研究者で早稲田大学教授の石原千秋先生をお迎えし、「漱石没後百年に『こころ』の「心」を考える」という演題でご講演いただきます。

石原千秋先生は、テキスト論のお立場から、作品の斬新な読みを提示し続ける、日本近代文学の研究者です。とりわけ石原先生の夏目漱石作品に関する数々の論考は、論壇に大きな衝撃を与えてきました。漱石が亡くなったのは、1916年12月9日。今回は、没後百年をひと月前にした絶好のタイミングで、多くの学校の高校二年生でまさに授業が進行中であろうかと思われる『こころ』について、石原先生にお話を頂ける運びとなりました。以下は石原先生ご自身から頂いたメッセージです。

人は「心」は自由に働くと思っているかもしれませんが、しかし、そうでしょうか。人の「心」が様々な物理的・社会的な条件に制約されていることは、いまや常識となっているでしょう。さらに、そもそも「心」が自由に働くものだというパラダイムを作ったのが、ほかならぬ『こころ』だと言ってしまう欲望に駆られています。「心」の働きは、言葉にしなければ十分に自覚できませんし、他者に伝えることもできないからです。それには、資本主義、進化論、女子教育など、明治期になってから日本に入ってきた制度や思考が大きく関わっています。これらを踏まえながら、いま『こころ』を教える意義について考えたいと思います。

石原 千秋

石原先生には、研究や執筆、また学部生や大学院生のご指導と、大変ご多忙にもかかわらず、講演をお引き受け頂きました。アクティブラーニングをはじめ授業手法の改革が叫ばれる中であって、私たち教員が大切にしなければならない原点の一つは、作品に対する「豊かで魅力的な読み」ではないでしょうか。石原先生のお話から、必ずや現場の指導に頼もしい力を頂けるはずです。ベテランの先生方も、若手の先生方も、校務多忙の時期とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひ奮って参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成28年11月11日（金）18：00～20：00 ※受付開始17：30より
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館） 千代田区九段北4-2-25  
※ 裏面の案内図をご参照ください。
3. 演 題 — 漱石没後百年に『こころ』の「心」を考える —

4. 講 師 早稲田大学教育・総合科学学術院教授 石原千秋（いしはらちあき）先生

【プロフィール】

1955 年生まれ。成城大学大学院文学研究科博士課程後期中退。東横学園女子短期大学助教授、成城大学教授を経て、2003 年より早稲田大学教授。専門分野は、夏目漱石の文学を中心とした近代文学で、テキスト論の立場から多くの小説を論じ、斬新な読みを提出する。他に、国語教科書の言説分析や入試国語の研究も行う。多数の著書、諸誌への連載、講演等がある。

《これからも何でも論じるでしょうが、ライフワークは江藤淳の名著『漱石とその時代』の向こうをはって『時代の中の漱石』を書くことです。また、文学理論の中では特に「読者」に関心があります。『テキスト論の感性』、『テキスト論の方法』、『テキスト論の思想』の「テキスト論」三部作を完成させることも夢です。》（早稲田大学教育学部HPより転載）

- 5. 参加費 無 料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）
- 6. 定 員 100名（申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります）
- 7. 運営委員 星野 真人（國學院高等学校）
- 8. 申込方法 11月4日（金）までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申し込みください。

URL <http://k.tokyoshigaku.com>

東京私学教育研究所

検 索 

東京私学教育研究所 文系教科研究会（国語） 担当：岡沢・溝口

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線  
市ヶ谷駅（1またはA1）出口



地下鉄 新宿線  
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口



JR中央線（各駅停車）市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

文系教科研究会（国語）「研修会」参加申込書 [ 11月11日（金）実施 ]

学 校 名	氏 名（ふりがな）

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成28年 月 日

校 長 印

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。（本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です）  
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号：
-----	--------